

ルポ 差別と貧困の外国人労働者

安田浩一

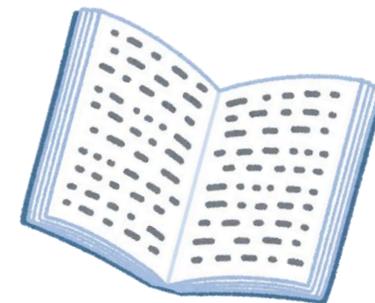
210781166 松浦史帆

目次



第一部 中国人が支える、日本の底辺重労働

第二部 日系ブラジル人、移民たちの闘い



「ルポ」って？

ルポルタージュの略(仏語)

事件や社会問題などを題材に、綿密な取材で
事実を客観的に文学を叙述
又は、報告文学や記録文学

安田浩一

ルポ 差別と貧困の
外国人労働者



【基本給】月5～6万円 【残業時給】300円
【現金支給】**月1万5000円**

世界的な「移民の時代」を迎えて、
日本を支える外国人労働者たちの心の痛みを描く

光
文
社
新
書
465

1. 中国人が支える、日本の底辺重労働

ア) 日本で働くための予備校

a) 新県涉外職業技術学院

→日本の企業へ研修生を育成；職業訓練施設

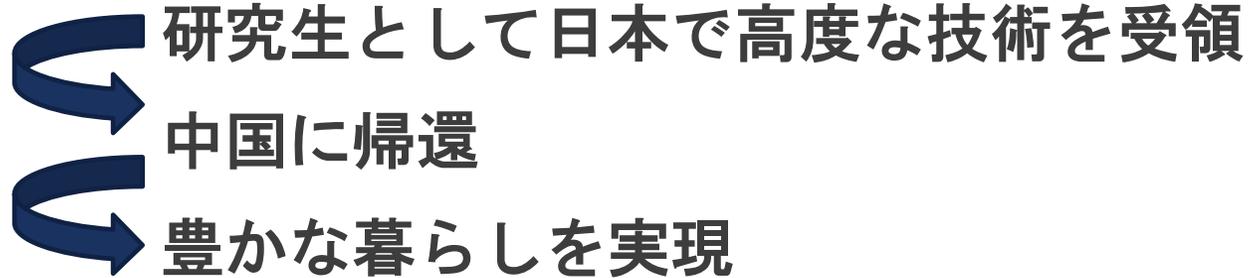
約男女300人

イ) 裁縫や農業、溶接等の技術、日本語の読み書き



来日する理由は？

ア) 「貧しい生活環境を変えたい」



イ) 「日本のまじめさを見習いたい」

→日本の賛辞ばかり

日本の研修での実態①

最初の一年：研修生



最大二年間：企業と雇用契約を締結：実習生

→各種工場、農林水産業の現場に派遣

研修・実習の名目 → その多くは単純労働



日本の研修での実態②

- 一年で300万
- 一方、固定給月6～7万、残業自給3000円
- 日本の法の半分以下
- 休日は週に一回、正月休み、夏季休暇なし
→強制労働？



日本の研修での実態③

日本に行けば必ず儲かる

出国に120万必要（飛行機代以外は訓練施設が受領）

↳ 貧しい人の年収の**10倍**

通帳と印鑑、キャッシュカード、パスポートは経営者が管理

労働問題 < 人権問題



2. 日系ブラジル人、移民たちの闘い



a) 90年の入管法の改正

ア) 日系3世までの日系人およびその配偶者の定住資格を認定

i) 好況安い労働力を大量に受け入れ

ii) 不況→その大部分を切り捨て

b) 外国人→便利な雇用の調整

まとめ

日本の重労働は外国人労働者が支える面**大**。



私たちはこの事実の受け止めが必須

日本社会を支えている外国人労働者に対する**敬意と尊敬の念**を形に